

番号：140327

国名：バヌアツ

担当：フィジー事務所

案件名：豊かな前浜プロジェクトフェーズ2 終了時評価調査（評価分析）

### 1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：評価分析
- (2) 格付：3号～4号
- (3) 業務の種類：調査団参団

### 2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2014年6月下旬から2014年8月上旬まで
- (2) 業務M/M：国内 0.50M/M、現地 0.67M/M、合計 1.17M/M
- (3) 業務日数：

準備期間	現地業務期間	整理期間
5日	20日	5日

### 3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：6月4日(12時まで)
- (4) 提出方法：専用アドレス (e-propo@jica.go.jp) への電子データの提出又は  
郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル) (いずれも提出期限時刻必着)

※2014年2月26日以降の業務実施契約（単独型）公示案件（再公示含む）より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細についてはJICAホームページ（ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ>「コンサルタント等契約における業務実施契約（単独型）簡易プロポーザルの電子提出本格導入について」（[http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204\\_02.html](http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204_02.html)）をご覧ください。なお、JICA本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご留意ください。

### 4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：

①業務実施の基本方針	8点
②業務実施上のバックアップ体制等	2点
  - (2) 業務従事予定者の経験能力等：

①類似業務の経験	45点
②対象国又は同類似地域での業務経験	9点
③語学力	18点
④その他学位、資格等	18点
- (計100点)

類似業務	各種評価調査
対象国／類似地域	バヌアツ／全途上国
語学の種類	英語

### 5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：

本調査の対象である技術協力プロジェクトにおいて専門家業務に携わった法人及び個人は本件への参加を認めない。

(2) 必要予防接種：なし

## 6. 業務の背景

バヌアツを含む大洋州において、多くのコミュニティが沿岸域に点在し、人びとは食料や収入を沿岸資源に大きく依存している。しかしながら近年、沿岸開発にともなう環境破壊や魚介類の乱獲などの人為的影響、さらには気候変動の影響にともなう生態系の遷移などにより、沿岸資源は減少の一途をたどっている。

バヌアツ政府の国家開発戦略である「国家優先課題・行動計画：2006年－2015年」は、農林水産業・観光分野における民間セクター牽引型の経済成長を重視し、水産部門では「地方住民のほとんどが何らかの形で関与し、現金収入源のみならず自給的栄養源として依存している沿岸資源の適切な管理と利用が必要」としている。バヌアツの沿岸水産資源として、前浜には定着性の強い貝類（タカセガイ、ヤコウガイ、シャコガイ等）やナマコ類、甲殻類が生息している。バヌアツはそれら資源の適切な管理に向けて、特定の海産生物の捕獲禁止、漁獲サイズや漁期の規制による漁獲圧の低減、さらに農業・検疫・林業・水産省（以下、MAQFF）の許認可による輸出調整に努めている。

MAQFFの水産局が沿岸資源管理の実施機関であるが、コミュニティレベルでの普及活動は技術的・人的・予算的制約により十分に行われていなかった。また、他ドナーから技術的支援を受けているが、人工種苗放流等による直接的な増養殖は行われていなかった。そのため、沿岸資源が減少傾向にあり、人々の生活に対する負の影響が危惧されていた。係る状況を踏まえ、バヌアツは我が国に対し、包括的な沿岸資源管理に向けた技術協力を要請した。

同要請を受けて JICA は、技術協力プロジェクト「豊かな前浜プロジェクト」(2006年－2009年) (以下、フェーズ 1) を実施し、水産局が沿岸資源管理を実施できるよう、定着性の強い資源である貝類に焦点を当てて増養殖技術に関する支援とともに、首都があるエファテ島のモデルサイトで住民参加型の沿岸資源管理にかかる手法の確立について支援した。フェーズ 1 での成果の達成により、貝類の増養殖技術において種苗生産及び中間育成の技術が構築され、また住民参加型による沿岸資源管理の手法が確立されてモデルサイトでの活動が開始された。

上述の成果にもとづき、バヌアツは、住民主体による持続的利用が可能な沿岸資源管理、及び継続的な管理活動を担保するため住民の生計向上を目的として、フェーズ 1 のモデルサイトで確立した手法の継続的な実施に向けて、「豊かな前浜プロジェクトフェーズ 2」を我が国に対して要請した。これを受け、JICA は本フェーズ 2 プロジェクトを 2011 年 12 月から 3 年間の予定で協力を実施中である。

今回実施する終了時評価調査は、2014 年 11 月のプロジェクト終了を控え、プロジェクト活動の実績、成果を評価、確認するとともに、今後のプロジェクト活動に対する提言及び今後の類似事業の実施にあたっての教訓を導くことを目的とする。

## 7. 業務の内容

本業務従事者は、「新 JICA 事業評価ガイドライン第 1 版」に沿って、プロジェクトの協力について当初計画と活動実績、計画達成状況、評価 5 項目を確認するために、必要なデータ、情報を収集、整理し、分析する。

具体的担当事項は次のとおりとする。

(1) 国内準備期間 (2014 年 6 月下旬～7 月上旬)

- ① 既存の文献、報告書等（事業進捗報告書、業務完了報告書、調整委員会議事録、専門家報告書、活動実績資料等）をレビューし、プロジェクトの実績（投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等）、実施プロセスを整理、分析する。
- ② 既存の PDM に基づき、プロジェクトの実績、実施プロセス及び評価 5 項目ごとの調査項目とデータ収集方法、調査方法等を検討し、監督職員とも協議の上、評価グリッド（案）（和文・英文）を作成する。また、現地で入手、検証すべき情報を整理する。
- ③ 評価グリッド（案）に基づき、プロジェクト関係者（プロジェクト専門家、C/P 機関、その他バヌアツ側関係機関、他ドナー等）に対する質問票（英文）を作成し、事前に先方に配布する。

④対処方針会議等に参加する。

(2) 現地派遣期間 (2014年7月上旬～7月下旬)

- ①JICA バヌアツ支所等との打合せに参加する。
- ②プロジェクト関係者に対して、「新 JICA 事業評価ガイドライン第1版」に基づいた評価手法について説明を行う。
- ③バヌアツ側 C/P と協議した評価グリッドに基づき、事前に配布した質問票を回収、整理するとともにプロジェクト関係者に対するヒアリング等を行い、プロジェクト実績（投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等）、実施プロセス等に関する情報、データの収集、整理を行う。
- ④収集した情報、データを分析し、プロジェクト実績の貢献、阻害要因を抽出する。
- ⑤国内準備並びに上記③及び④で得られた結果をもとに、他の調査団員及びバヌアツ側 C/P 等とともに評価5項目の観点から評価を行い、評価報告書（案）（英文）の取りまとめを行う。
- ⑥調査結果や他団員及びバヌアツ側 C/P 等からのコメント等を踏まえた上で、PDM 及び PO の修正案（和文・英文）の取りまとめに協力する。
- ⑦評価報告書（案）に関する協議に参加し、協議を踏まえて同案を修正し、最終版を作成する。
- ⑧協議議事録（M/M）（英文）の作成に協力する。
- ⑨現地調査結果の JICA バヌアツ支所等への報告に参加する。

(3) 帰国後整理期間 (2014年7月下旬～8月上旬)

- ①評価調査結果要約表（案）（和文・英文）を作成する。
- ②帰国報告会に出席する。
- ③終了時評価調査報告書（和文）について、担当分野のドラフトを作成する。

## 8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は（1）～（3）のすべてとする。

- (1) 評価報告書（英文）
- (2) 担当分野に係る終了時評価調査報告書（案）（和文）
- (3) 評価調査結果要約表（案）（和文・英文）

上記（1）～（3）については、電子データをもって提出することとする。

## 9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約見積書作成ガイドライン」(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>) を参照願います。留意点は以下のとおり。

(1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みませ（見積を計上して下さい）。航空賃については、成田（日本）ーポートビラ（バヌアツ）間のみを計上して下さい。

経由地はシドニー、オークランド、ソウル・ナンディ及び香港・ナンディのいずれかとし、最も経済的な経路及び航空会社を選定ください。なお、バヌアツでの調査が2014年7月7日から開始でき、また、2014年7月23日午前中まで行える経路を選定してください。

## 10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

①現地業務日程

本業務従事者の現地調査期間は2014年7月5日～2014年7月24日を予定しています。

本業務従事者は、当機構の調査団員に1週間程度先行して現地調査の開始を予定してい

ます。

②現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- ア) 総括 (JICA本部)
- イ) 協力企画 (JICAフィジー事務所)
- ウ) 評価分析 (コンサルタント)

③便宜供与内容

当機構バヌアツ支所及びプロジェクトチームによる便宜供与事項は以下のとおりです。

- ア) 空港送迎  
あり
- イ) 宿舎手配  
あり
- ウ) 車両借上げ  
全行程に対する移動車両の提供 (機構職員等の調査期間については、職員等と同乗することとなります。)
- エ) 現地日程のアレンジ  
現地ヒアリング調査のスケジュールアレンジ及びプロジェクト専門家及びC/Pの同行
- オ) 執務スペースの提供  
プロジェクトオフィス内の執務スペース提供 (ネット環境完備)

(2) 参考資料

①本業務に関する以下の資料を当機構フィジー事務所 (TEL: +679-330-2522) より電子データで配布します。

- ・ 中間レビュー調査報告書
- ・ PDM (最新版)

(3) その他

業務実施契約 (単独型) については、単独 (1名) の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。

以上